

オンネトー



阿寒摩周国立公園

オンネトーとは

オンネトーは雌阿寒岳の西側にある周囲2.5kmの小さな湖で、雌阿寒岳の噴火によって川がせき止められて出来た湖と言われています。

湖水の色彩が多様に変化することから「五色沼」とも呼ばれていますが、その秘密は透明度の高さと湖底に堆積している黄色い砂。水深やその日の太陽光の強さによって色が変化すると考えられています。



A テラス→展望台

オンネトーの北西側に設置された展望テラスからは雌阿寒岳と阿寒富士をバックにしたオンネトーが望めますが、さらに違う角度から眺めたい方にオススメなのが、丘の上に設置された展望台。トイレ横から出発し、少々きつい坂を800mほど登っていくと、いつもとは違う角度から雌阿寒岳とオンネトーを望むことができます。

展望台からオンネトーの西側の尾根を約1.4kmほど進むと、キャンプ場入口へと行くこともできるルートです。

B オンネトー東岸コース

じっくりとオンネトーの湖岸や森歩きを楽しみたい方にオススメなのが東岸コース。オンネトーの北岸からキャンプ場へと繋がる1.9kmの散策路です。

オンネトーを眺めながら、夏はハクサンシャクナゲの花を愛でたり、秋にはイタヤカエデやナナカマドといった色とりどりの紅葉を楽しむことができます。



C 雌阿寒温泉→オンネトー

雌阿寒岳の麓に湧き出す温泉が楽しめる「雌阿寒温泉」からオンネトーへと抜ける散策路も季節を問わず人気のコースです。

約2.4kmという距離ですが、ミズバショウの自生する湿地から始まり、大きなアカエゾマツが自生する、原生的な森を通して青々としたオンネトーへと近づいていく変化が楽しめます。



川湯エコミュージアムセンター



北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2-2-6
TEL 015-483-4100

阿寒湖畔エコミュージアムセンター



北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉1-1-1
TEL 0154-67-4100

D 湯の滝コース

オンネトーの南端にある駐車場から約1.5kmの林道を歩いた先にある滝で、雌阿寒岳の主峰・ポンマチネシリから噴出した溶岩流の亀裂から温泉が流れだしています。

岩肌は黒く覆われていますが、その本体はマンガン。地上で唯一、温泉水から微生物がマンガン鉱物を生成され続けている、「生きている鉱床」として国の天然記念物に指定されています。



錦沼

雌阿寒温泉から道道664号線沿いにオンネトー側へ約1.5kmほど進むと、左手側に「錦沼」と呼ばれる、赤褐色の沼があります。

独特の色と匂いがしますが、実は沼底には褐鉄鉱が沈殿しており、湯の滝と同じく鉱床の一つです。

夏にはアカエゾマツの深緑に囲まれ、秋には色とりどりの紅葉とのコントラストを楽しめるポイントです。



オンネトー周辺で見られる植物



ゴゼンタチバナ
(6~7月)



ハクサンシャクナゲ
(6~9月)



ギンリョウソウ
(6~7月)



ヤマオダマキ
(6~7月)